

「楽田楽」の取り付け方

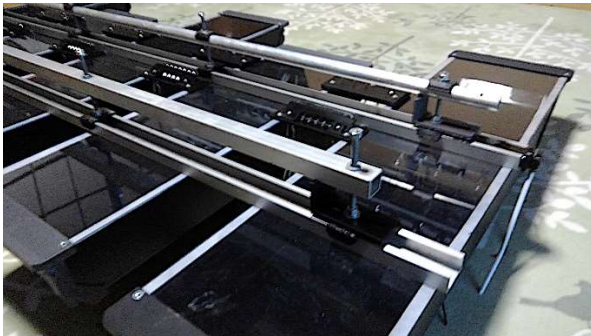
必要な道具・・・10mm用レンチ

1. 田植え機感度レバーの確認

感度レバーを「固い」側にして、田植フロートがつま先上がりになるようにします。レバーに繋がっているワイヤー先の金具取り付け位置も、つま先上がり側にします（田植え機取説参照）。

2. 「除草ユニット」取付ボルトの位置決め(初回のみ)

- ① C型チャンネルに取付ボルトを差し込み(外側はアングル付き)、取付丸パイプ(前)・角パイプ(後)の穴位置にボルトを差し込みます。



- ② 内側2本のナットを絞めてボルトをC型チャンネルに固定します。ナット締めは、ばね座金が多少閉まる程度で十分です。各部品を軽量化しているため、絞め過ぎると部品変形の恐れがあります(全作業共通)。
- ③ 外側2本のナットを、ボルトがスルスルとズレない程度に軽く締めます。

3. 「除草ユニット」の取り付け

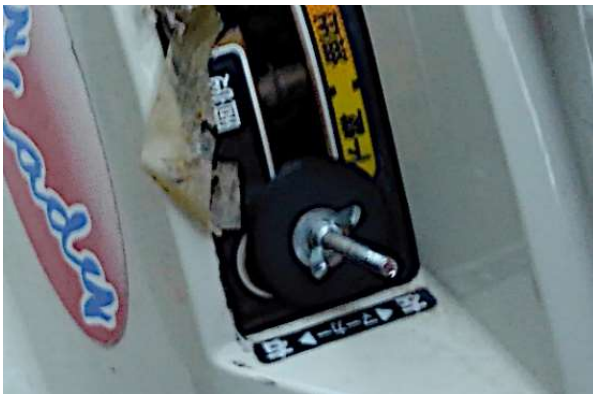
(慣れれば5～10分程度の作業です。また、一人作業の場合は、箱などの台に除草ユニットを仮置きすると楽です)



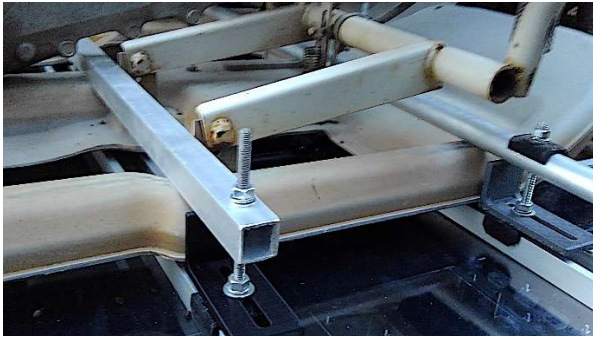
- ① 植付けフォークを、上方に回避しておきます(油圧固定、植付けレバー操作。田植え機取説参照)。



- ② 植付けフォークが動かないように、植付けレバーストッパーを取り付けます(同梱してある大小2種類のうち、合うほうを)。



- ③ 取付丸パイプ(前)・角パイプ(後)を所定の位置に置いて、丸パイプ用台座・ワッシャー・ばね座金・ナットを用意しておきます。
- ④ 前側の丸パイプ(もしくは後側の角パイプ)にボルト穴に、対応するボルトを差し込み、落ちないようにナット類を取り付けたら、横にずらせばずれる程度に仮締めします。この時、丸パイプ両端のバネ差し込み穴が上側になるようにします。
- ⑤ 後側の角パイプ(もしくは前側の丸パイプ)も同様に取り付けて、仮締めします。
(上記④⑤の作業の順序は、やりやすいように適宜変更してください。)
- ⑥ 左右のズレを確認・修正したら、外側4カ所のアングルを植付けフロートに密着させ、ナットを絞めて固定します(初回のみ)。



- ⑦ 後側角パイプが田植フロート取付金具に密着していることを確認し、パイプ上部のナットのうち、内側前後2ヶ所ずつを本締めし固定します(絞め過ぎ注意)。
- ⑧ 次に外側2ヶ所ずつについて、パイプ端を下に押した時にナットに遊びがあれば、指で回して遊びを取ります。

4. 「減荷ユニット」バネの取り付け

- ① 2種類のバネのうち、ピアノ線製は丸パイプに、ステンレス製は植付け装置の適切な箇所にそれぞれ引っ掛けます。



- ② 2種類のバネの引っ掛け位置が違うので、チェーンで長さの違いを調整してターンバックルに掛けます。チェーンの長さ・ターンバックルの長さは実地で最終調整しますが、2種類のバネにつけるチェーンの長さの違いは、保ったままにします。